6-1. 事故情報記録装置 (EDR) に係る基準 (UN-R160 関係)

● 適用範囲

- 〇 専ら乗用のように供する自動車であって乗車定員 10 人未満のもの及び貨物の 運送の用に供する車両総重量 3.5t 以下の自動車(※)
- ※ 二輪自動車、側車付二輪自動車、三輪自動車、カタピラ及びそりを有する軽自動車、大型特殊自動車、小型特殊自動車並びに被牽引自動車を除く。

● 改正概要

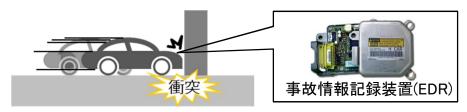
○ 自動車の事故時に関する情報を記録することにより、車両安全対策の更なる強化など、事故時の情報の活用を促すため、「事故情報記録装置に係る国際規則(協定規則第160号)」が国連 WP.29 において新たに採択されたことを踏まえ、以下の要件を満たす事故情報記録装置(EDR: Event Data Recorder)を備えなければならないこととする。

<事故情報記録装置の主な要件>

- EDR を装備した車両は、
 - ・規定された情報(速度変化量、表示車速、加速度、シートベルト着用 有無、ロール角等)
 - ・先進安全技術に関する作動情報(衝突被害軽減ブレーキ、自動操舵機能(ACSF)、事故自動緊急通報装置(AECS)等)*

について、規定された仕様(記録時間範囲、精度及び時間分解能)に基づき、記録しなければならない。

- ② 少なくとも2つ(3つ*)の異なるイベントを格納しなければならない
- ③ 以下の条件のいずれかを満たした場合作動しなければならない。
 - ・縦方向又は横方向の速度変化が 150 ミリ秒以下の間隔で時速 8km 以上
 - ・エアバッグ等が作動した場合 など
- ④ 記録データは、協定規則第94号、第95号及び第137号の各衝突試験時においても、情報が記録できなければならない。
- ⑤ EDR を停止させないこと。



- 改正時期(予定) 令和3年9月下旬
- 適用時期(予定)

新 型 車:令和4年7月(※印の要件の適用は、令和6年7月)

継続生産車:令和8年5月(※印の要件の適用は、左記(令和8年5月)と同じ)